

# 四宮へま



## ほのぼのと秋祭り

去る十月二十一日、赤田神社の秋祭りが行われました。

午前九時前、御神輿が御旅所の古四之宮（中村町内）へ向けて出発しました。

古四之宮には、お年寄りから小さなお子さんまで、たくさんの方が集まっておられました。今年も中村町内のみなさんにより、とても美味しい手作りのおでんやぜんざいなどのおもてなしを受けました。

御神輿が古四之宮から赤田神社に戻ると神事が行われ、総代や奉納行事に出演されるみなさんが参列。

神事の後、鷲流狂言、良城小合唱団、鳳翫太鼓、コーラスyui、石見神樂が奉納されました。

コーラスyuiは、良城小PTAコーラスで活動していたお母さんやお父さんが、子供が小学校を卒業してからも、歌声で人や地域と結ばれ続けたいとの思いから、新たに結成されたグループです。

今回が結成後、初舞台ということでしたが、優しさあふれる歌声が境内にひびきわたり、ほのぼのとした空気が



結成後初舞台のコーラスyui

会場を包み込んでいました。

そのほかにも子供相撲や尻相撲大会、くじ引きやヨーヨー釣りなどの催しがあり、終日、家族連れやたくさんの子供達で賑わっていました。お祭りにご協力くださったみなさん、ありがとうございます。

## 初詣のご案内

元日は午前零時から、国家の安泰と氏子の一年の平安を祈念する『歳旦祭』を行います。その頃より大焚火をし、ぜんざいを二用意して、皆様の参拝をお待ちしております。

# えびすまつり

えびす様は、開運、招福の神様として信仰されていて、一般家庭はもとより、農林水産業や商工業などの諸産業の守護神としても厚く信仰されています。

毎年正月三日にはえびすまつりを行い、神様から福を授かる『福授くじ』を行っています。

◇神 事 午前七時四十五分

◇福授くじ 午前八時～正午頃

※ くじは、なくなり次第終了

# 節分 厄払い

節分には、家族のみなさんの厄を祓って一年間の無病息災と家内安全を祈願する習わしがあります。

厄年のお祓いもこの日に行います。

◇日 時 二月三日

◇受 付 午前九時～午後七時ごろまで

◇厄 年 (数え年)

(男)

二十五才 (平成元年)

四十二才 (昭和四十七年) 大厄

六十一才 (昭和二十八年)

(女)

十九才 (平成七年)

三十三才 (昭和五十六年) 大厄

三十七才 (昭和五十二年)

六十一才 (昭和二十八年)

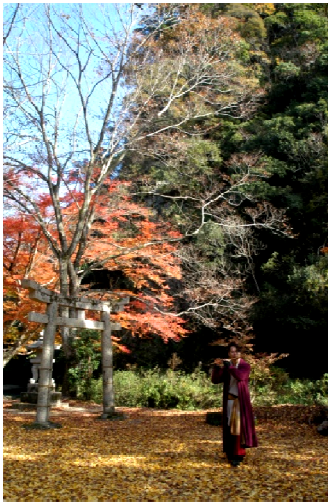
厄年の前後が、それぞれ前厄・後厄

# 賽銭箱盗難

赤田神社の賽銭箱が盗難にあいました。鍵を壊して、金銭のみが盗まれたことは、これまでもありましたが、賽銭箱ごとの盗難ははじめてです。このため、賽銭箱を新調しましたので報告します。

# まるで絵巻物のよう！ 篠笛が境内に響く

去る十一月十八日、篠笛奏者、佐藤和哉氏のコンサート、「赤田神社公演



縁日」が開催されました。

今回のコンサートは、和哉氏のファンのみなさんが集まった実行委員会による手作りのコンサートでした。実行委員長を務められた泉智子さんは、和哉氏の大的ファン。和哉氏から泉さんが経営するお店の開店を祝って、お店で演奏してくれるという話があったことがきっかけで、それなら多くの人に聴いてもらいたいとの思いから、コンサートを企画されました。

コンサートでは、私たちにも馴染みの深い「もみじ」や「荒城の月」をはじめ、クラシックや洋楽を編曲したものが演奏されました。今回は、打楽器奏者の佐藤貴子氏との共演でした。

当日は、紅葉の真っ盛りでした。和哉氏が演奏の途中で、黄色いイチョウの葉で敷き詰められた境内に降り、色づいたもみじの前で演奏されるというコマもありました。

川のせせらぎや鳥のさえずりが篠笛の音に溶け込んでいく様子は、まるで古の絵巻物を目の当たりにしているような感覚を覚えました。

和哉氏は演奏会の最後に、「このコンサートが、地域のつながりを一層深めるものになってほしい。」と言われていました。また、自身のブログには、



「構想から約半年、沢山の方の力が集まって実現した、『赤田神社公演 縁日』篠笛奏者として独立して、自分が思い描いていた理想のスタイルの公演：自然と歴史と人が一体となった時間芸術が、自分の想像以上のものになって実現できました。お力添え下さった皆様には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」と、綴っておられます。

こうした小さな取組みから、地域の輪が少しずつでも広がっていくことに期待したいと思えます。